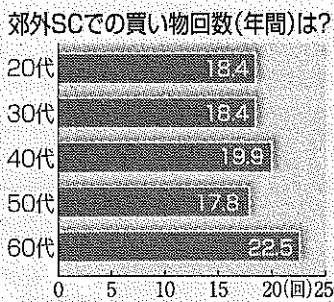


みるみる福岡 シニアは郊外SCがお好き

郊外ショッピングセンター（SC）の利用者というと、一般的には30～40代のファミリー世代を連想しがちだが、福岡県内の男女700人を対象とする調査の結果、60代のシニア層の利用も多いと分かった。

年齢が上がると、行動範囲が狭くなる。さらに、映画などのエンターテインメントやカジュアル衣料の購入ならば「近場で十分」という意識に加え、天神や博多といった市街地に比べると、居心地が良い点なども理由といえそうだ。郊外SCがシニア世代の「時間つぶしの場所」として気軽に利用されている様子がうかがえる。



◇ 「みるみる福岡」では、データを基に福岡の消費動向や暮らしぶりのいまを紹介します。毎週水曜掲載

市場調査会社シーコムまとめ